

**KITOKU
SHINRYO**

第61期

中間期株主通信

平成20年1月1日～平成20年6月30日

木徳神糧株式会社

● Top Interview



【企業理念】

誠意と感謝の気持ち
クオリティの追求
新しい価値の創造

Contents

トップインタビュー	...01
木徳神糧アレコレ通信	...04
トピックス	...05
事業の概況	...06
連結財務諸表	...07
単体財務諸表	...09
会社概要	...10

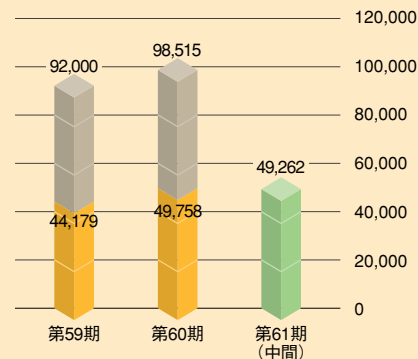


代表取締役社長

平山 淳

第61期中間決算の業績に加え、木徳神糧が今後取り組む経営課題について平山社長に聞きました。

● 売上高 ■ 中間 ■ 通期 (単位: 百万円)



Q. 第61期中間期の業績についてお聞かせください。

A. 当中間連結会計期間におけるわが国経済は、原油や原材料価格の高騰、さらにサブプライムローン問題に端を発した米国経済の減速懸念等により、景気の先行きの不透明感が強まってまいりました。また、食料品等の値上がりによる家計への負担感が強まったことから個人消費にマイナスの影響を及ぼしております。

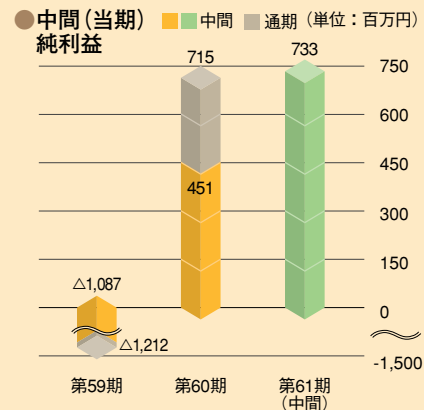
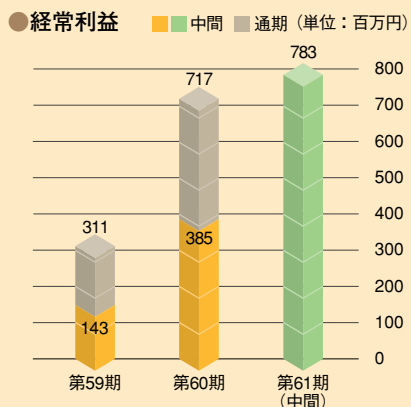
当社グループの関連する食品業界におきましては、海外穀物相場、配合飼料価格並びに原油価格等の高騰、それに伴う物流コスト、生産資材コスト等の上昇が加わり大変厳しい経営環境にありましたが、当社グループの売上高の8割以上を占める米穀業界では、他の食料品価格が大幅に上昇するなか、平成19年産米の販売価格は安定的に推移し、米の消費は堅調に推移いたしました。

このような状況のなか、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は49,262百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益は839百万円（同100.6%増）、経常利益は783百万円（同103.3%増）、中間純利益は733百万円（同62.4%増）となりました。

Q. 通期の見通しについて

A. 下半期のわが国経済の見通しにつきましては、原油や原材料の高騰、米国経済の減速による影響、企業の設備投資の抑制等から、景気後退の可能性が強まっております。また、食料品等の値上がりが続くなか、個人消費の悪化が懸念されております。

米穀業界におきましては、米の消費回復が見られるなか、端境期において政府米入札の中止による平成19年産



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

米の供給不足が懸念されておりますが、一方で平成20年産米は平年以上の作況になる見込みであり、生産調整目標に対し大幅な未達が予想され、平成20年産米の供給過剰の可能性が高まっております。

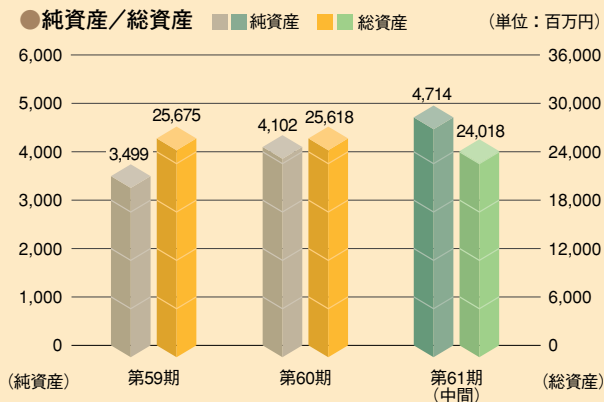
このような状況のなか、当社グループにおきましては、米穀事業における国内販売の拡大、新規取引先獲得の強化、並びに競争力の向上に寄与するコストダウンに取り組む一方、海外拠点の更なる充実に努め、第三国向けの販売活動を積極的に展開してまいります。また、成長性のあるコメ加工食品分野における商品開発を強化し、販売の拡大を図ってまいります。

Q. 株主の皆さまへメッセージをお願いします。

A. 当期の配当につきましては、1株につき中間配当金3円（当初予想より1円増配）及び期末配当金2円を含めまして、年間配当金5円（当初予想4円）を予定しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年9月



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

通期業績見通し

売上高 97,900 百万円

経常利益 1,200 百万円

当期純利益 1,090 百万円

木徳神糧の〇〇が知りたい!? Q&A

Q. 株主優待制度の変更に関する発表がありました。分かりやすく説明してください。

A. 当社は、平成20年8月19日開催の取締役会において優待内容のより一層の充実を図るために、以下の通り株主優待制度の変更について決議いたしました。なお、今回の変更は平成20年6月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された株主の皆さまより実施いたします。

	現 状	変 更 後	
優待品の充実	当社の米穀製品のみ	当社の米穀製品の他、もち関連製品を追加いたしました	
贈呈基準の複線化	1,000株以上一律 中間期 2,000円相当 期 末 3,000円相当 年間合計 5,000円相当	1,000株以上2,000株未満 中間期 2,000円相当 期 末 3,000円相当 年間合計 5,000円相当	2,000株以上 中間期 4,000円相当 期 末 3,000円相当 年間合計 7,000円相当
贈呈時期の多様化	中間期 9月頃 期 末 3月頃	1,000株以上2,000株未満 中間期 9月頃 期 末 3月頃	2,000株以上 中間期 9月頃と12月頃 期 末 3月頃

■ 株主優待品のご紹介

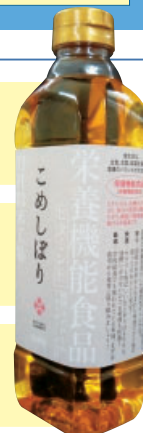
こめしぼり

米油は、玄米を精米したときに得られる米糠から作られる油です。米油は、植物ステロール、ビタミンE、γ-オリザノール、トコトリエノールなどの栄養成分を含み、コレステロールを下げる効果が大いといわれています。酸化安定性、保存性に大変優れており、さらっと軽くて香ばしいおいしさのなかに玄米の栄養とビタミンEを多く含んだ食用油です。このこめしぼりは、国産米由来の米糠から精製された製品で、昨今の食品の安全・安心へのニーズにお応えしています。

酸化しにくく
おいしさ長持ち

健康にもいい

国産米由来なので
安全・安心



60g入米油「こめしぼり」

新商品のご紹介——「たんぱく質調整 梅がゆ」



健康維持のため、たんぱく質の摂取量が制限されている方々にとって、主食であるご飯からたんぱく量を低減することが大変重要になります。

当社では、これまでも低たんぱく米を商品化し、市場に投入してきましたが、このたび「たんぱく質調整 梅がゆ」を開発しました。この梅がゆは、梅しそのさわやかな香りが楽しめるおかゆです。さわやかな梅の味が程よくマッチし、梅の酸味が病気や旅行などで疲れた体を癒します。お湯や水さえあれば、どこでも簡単に、梅がゆをお召し上がりいただけるものとなっています。



■ 担当者に聞きました

コメ加工食品部 勝俣幸子

「たんぱく質調整 梅がゆ」開発のコンセプトは？

日常向けのたんぱく質調整食品は数多く販売されていますが、災害等非常時には、加熱するなどの調理が必要となるため、お客様から簡便に食事として用いることのできる商品はないか、とのご要望が数多く寄せられておりました。そこで、市場的には大きくはありませんが、日頃たんぱく質調整食品を販売する者として、社会貢献の意味合いを含め「たんぱく質調整 梅がゆ」を開発し発売することといたしました。

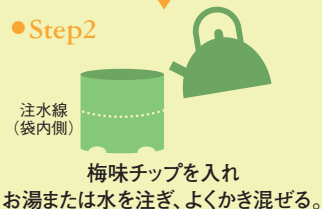
「たんぱく質調整 梅がゆ」は、お湯または水だけで食事ができるように加工してあります。また、梅味チップでの簡単な味付けが可能で、さらにスプーンを添付していますので、これだけで食事が完結できるように設計されています。保存食として長期間の保存も可能なので、その簡便性・保存性から非常食以外に旅行やアウトドアの携帯食としてもご利用いただけます。

作り方

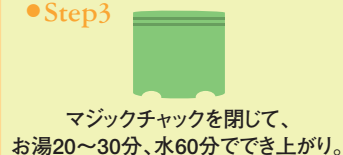
● Step1



● Step2



● Step3



米穀事業

当中間連結会計期間におきましては、前年度水準より低くスタートした平成19年産米の入札価格は、当初更なる価格の下落が予想されましたが、政府備蓄米の積み増しにより入札価格が下げ止まり、店頭における販売価格は安定的に推移いたしました。また、他の食料品価格の大幅な上昇が米に対する相対的な割安感をもたらしたことや原油価格が高騰したことは、外食から内食への消費転換を促しつつあります。その結果、米の需要が高まり、米の消費は堅調に推移いたしました。当社グループにおきましては、ミニマム・アクセスによる輸入米の取り扱いの大幅な減少があり、当中間連結会計期間における米穀事業の売上高は39,231百万円（前年同期比5.7%減）となりましたが、国内における平成19年産米の販売も、米の国際相場の高騰により海外連結子会社における第三国向けの販売も順調に推移いたしましたことから、営業利益は1,142百万円（同78.2%増）となりました。

鶏卵事業

当中間連結会計期間におきましては、当社グループは一般卵の販売数量の拡大、販売のコストダウンに注力いたしましたが、販売環境が依然厳しいなか、当中間連結会計期間における鶏卵事業の売上高は3,172百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は68百万円（同4.0%減）となりました。

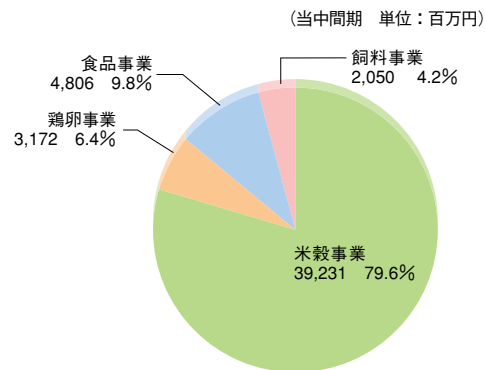
食品事業

当中間連結会計期間におきましては、たんぱく質調整米の新商品の販売、米粉につきましては、従来の米菓・和菓子メーカー向けの販売に加え、新たな用途向けの販売も堅調に推移いたしました。鶏肉につきましては、国産品回帰の動きに加えて市況は高値で推移し、販売も堅調でありました。しかしながら、原材料等の高騰で惣菜の製造販売の採算性は悪化いたしました。この結果、当中間連結会計期間における食品事業の売上高は4,806百万円（前年同期比38.4%増）、営業利益は3百万円（同95.0%減）となりました。

飼料事業

当中間連結会計期間におきましては、世界的な穀物飼料価格の高騰を背景に、当社グループ精米工場から調達する米糠の販売価格が大幅に上昇したこと、新規商材の取り扱いや新規取引先獲得を強化したことにより、当中間連結会計期間における飼料事業の売上高は2,050百万円（前年同期比46.2%増）、営業利益は112百万円（同21.8%増）となりました。

連結売上高構成比



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Financial Data

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成20年6月30日現在	平成19年6月30日現在
資産の部		
流動資産	14,720,358	14,849,653
固定資産	9,298,344	10,034,091
有形固定資産	7,378,996	7,578,863
無形固定資産	88,912	199,686
投資その他の資産	1,830,434	2,255,541
資産合計	24,018,702	24,883,744

(単位:千円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成20年6月30日現在	平成19年6月30日現在
負債の部		
流動負債	15,613,097	15,139,696
固定負債	3,691,330	5,816,719
負債合計	19,304,428	20,956,415
純資産の部		
株主資本	4,227,937	3,283,510
資本金	529,500	529,500
資本剰余金	331,509	331,509
利益剰余金	3,385,728	2,439,873
自己株式	△18,799	△17,371
評価・換算差額等	64,306	219,332
その他有価証券評価差額金	99,066	220,844
繰延ヘッジ損益	146	△2,636
為替換算調整勘定	△34,907	1,125
少数株主持分	422,030	424,485
純資産合計	4,714,274	3,927,329
負債・純資産合計	24,018,702	24,883,744

point • 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは△555百万円となりましたが、これは主に税金等調整前中間純利益819百万円の計上、休日要因による売上債権△596百万円、仕入債務△2,029百万円があったこと等によるものであります。

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科 目	当中間期	前中間期
	自平成20年1月1日 至平成20年6月30日	自平成19年1月1日 至平成19年6月30日
売上高	49,262,073	49,758,769
売上原価	45,602,731	46,593,314
売上総利益	3,659,342	3,165,454
販売費及び一般管理費	2,819,388	2,746,828
営業利益	839,953	418,625
営業外収益	138,485	142,125
営業外費用	194,638	175,303
経常利益	783,801	385,448
特別利益	54,626	154,655
特別損失	18,828	57,669
税金等調整前中間純利益	819,599	482,434
法人税、住民税及び事業税	36,747	61,226
法人税等調整額	30,697	△35,816
少数株主利益	18,328	5,169
中間純利益	733,825	451,855

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科 目	当中間期	前中間期
	自平成20年1月1日 至平成20年6月30日	自平成19年1月1日 至平成19年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△555,352	1,594,462
投資活動によるキャッシュ・フロー	△132,099	△109,796
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,332	△1,468,598
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,042	631
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△708,827	16,698
現金及び現金同等物の期首残高	2,760,502	2,029,174
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,051,675	2,045,872

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書(要旨)

(単位:千円)

当中間期	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等				少数 株主持分	純資産 合計
	自平成20年1月1日 至平成20年6月30日	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定		
平成19年12月31日 残高	529,500	331,509	2,686,854	△17,979	3,529,883	157,595	1,438	△7,479	151,554	421,002	4,102,440
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当	—	—	△33,929	—	△33,929	—	—	—	—	—	△33,929
中間純利益	—	—	733,825	—	733,825	—	—	—	—	—	733,825
自己株式の取得	—	—	—	△820	△820	—	—	—	—	—	△820
持分法適用除外による剰余金減少額	—	—	△1,022	—	△1,022	—	—	—	—	—	△1,022
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△58,528	△1,291	△27,427	△87,247	1,028	△86,219
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	698,873	△820	698,053	△58,528	△1,291	△27,427	△87,247	1,028	611,834
平成20年6月30日 残高	529,500	331,509	3,385,728	△18,799	4,227,937	99,066	146	△34,907	64,306	422,030	4,714,274

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間単体貸借対照表 (要旨)

(単位:千円)

科 目	当中間期	前中間期
	平成20年6月30日現在	平成19年6月30日現在
資産の部		
流動資産	10,501,973	9,824,067
固定資産	7,553,047	8,077,805
有形固定資産	4,861,725	4,925,500
無形固定資産	57,815	147,185
投資その他の資産	2,633,505	3,005,118
資産合計	18,055,020	17,901,872
負債の部		
流動負債	11,597,482	10,857,581
固定負債	2,639,910	4,341,283
負債合計	14,237,392	15,198,864
純資産の部		
株主資本	3,720,573	2,490,132
資本金	529,500	529,500
資本剰余金	331,509	331,509
利益剰余金	2,878,364	1,646,494
自己株式	△18,799	△17,371
評価・換算差額等	97,053	212,876
純資産合計	3,817,627	2,703,008
負債及び純資産合計	18,055,020	17,901,872

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間単体損益計算書 (要旨)

(単位:千円)

科 目	当中間期	前中間期
	自平成20年1月1日 至平成20年6月30日	自平成19年1月1日 至平成19年6月30日
売上高	40,079,965	38,628,420
売上原価	37,561,284	36,898,467
売上総利益	2,518,681	1,729,953
販売費及び一般管理費	1,783,195	1,389,347
営業利益	735,485	340,605
営業外収益	83,189	131,719
営業外費用	163,053	178,629
経常利益	655,620	293,696
特別利益	41,286	15,507
特別損失	3,018	37,729
税引前中間純利益	693,888	271,473
法人税・住民税及び事業税	2,018	2,229
法人税等調整額	30,442	△2,584
中間純利益	661,427	271,828

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

中間単体株主資本等変動計算書 (要旨)

(単位:千円)

当中間期	株主資本										評価・換算差額等			純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		固定資産 圧縮積立金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益 剰余金							利益剰余金 合計
平成19年12月31日 残高	529,500	331,500	9	331,509	114,146	575,812	1,030,000	530,907	2,250,866	△17,979	3,093,895	153,748	1,919	155,667	3,249,563
中間会計期間中の変動額															
剰余金の配当	-	-	-	-	-	-	-	△33,929	△33,929	-	△33,929	-	-	-	△33,929
中間純利益	-	-	-	-	-	-	-	661,427	661,427	-	661,427	-	-	-	661,427
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△820	△820	-	-	-	△820
圧縮積立金取崩額	-	-	-	-	-	△13,673	-	13,673	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の中間会計 期間中の変動額 (純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△56,841	△1,772	△58,613	△58,613
中間会計期間中の変動額合計						△13,673	-	641,171	627,498	△820	626,678	△56,841	△1,772	△58,613	568,064
平成20年6月30日 残高	529,500	331,500	9	331,509	114,146	562,139	1,030,000	1,172,079	2,878,364	△18,799	3,720,573	96,907	146	97,053	3,817,627

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (平成20年6月30日現在)

商号	木徳神糧株式会社
事業内容	米穀事業、海外事業、飼料事業、 コメ加工食品事業
本店所在地	〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル2階 TEL：03-3571-2188
本社事務所	〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2-14-6 TEL：03-5636-1501 (代表) FAX：03-5636-1601
資本金	5億2,950万円
従業員数	162名 (臨時雇用者を除く)

事業所一覧 (平成20年9月末現在)

本店	東京都中央区銀座
本社	東京都江戸川区西瑞江
東北支店	宮城県仙台市
関西支店	滋賀県東近江市
桶川工場	埼玉県桶川市
本牧工場	神奈川県横浜市
仙台工場	宮城県仙台市
新潟工場	新潟県阿賀野市

役員 (平成20年9月末現在)

取締役・監査役			
取締役会長	木村	良	
代表取締役社長	平山	惇	
専務取締役	松山	正吉	
常務取締役	山本	幸雄	
取締役執行役員	水野	正夫	
取締役執行役員	伊豫田	直記	
常勤監査役	高橋	健治	
※ 監査役	松下	守子	
※ 監査役	杉野	翔子	

※印は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

執行役員

上席執行役員	天川	誠
上席執行役員	小森	浩資
執行役員	三澤	正博
専任執行役員	稲垣	英樹
専任執行役員	鎌田	慶彦
専任執行役員	竹田	光男
専任執行役員	佐藤	善雄
専任執行役員	石田	俊幸

Homepage information

ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆さまに対して、企業情報や財務情報をはじめとして、事業活動やその動向を紹介しております。当社をよりご理解いただくためにも是非アクセスしてください。

<http://www.kitoku-shinryo.co.jp>



株式の状況 (平成20年6月30日現在)

- (1) 発行可能株式総数 30,000,000株
 (2) 発行済株式の総数 8,530,000株
 (3) 株主数 1,517名
 (4) 大株主

株主名	持株数	出資比率
木村謙三	405千株	4.75%
木村良	326	3.82
濱田精麥株式会社	310	3.63
株式会社三菱東京UFJ銀行	300	3.52
木村友二郎	243	2.85
稲垣辰彌	230	2.70
水野正夫	215	2.52
木徳神糧従業員持株会	194	2.28
株式会社三井住友銀行	186	2.18
農林中央金庫	186	2.18

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 2. 出資比率は、小数点第3位を四捨五入で表示しております。

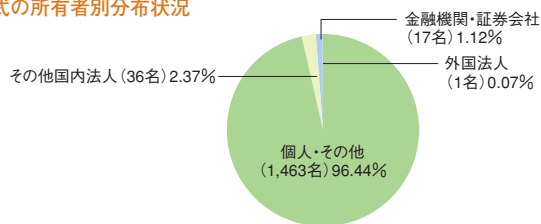
株主メモ

- 事業年度 1月1日から12月31日まで
- 定時株主総会 毎年3月に開催いたします。
- 基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
- 配当金受領株主確定日 12月31日及び中間配当金の支払いを行うときは6月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同事務連絡先 〒137-8081
(郵便物送付先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号
(お問い合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
野村證券株式会社 全国各支店
- 公告方法 日本経済新聞

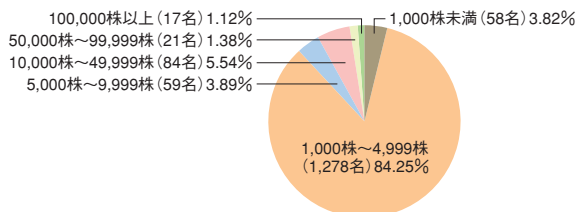
(届出諸事項についてのお知らせ)

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求及び買増請求に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479で24時間承っておりますので、ご利用ください。

株式の所有者別分布状況



株式の所有数別分布状況



安全、確実、迅速な配当金のお受取方法として、口座振込みをお勧めいたします。